

2023年度 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

放課後等デイサービス事業所やっほ〜クラブ

公表：2024年 2月26日

	項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6				
	② 職員の配置数は適切であるか	4	2		小グループに分けて活動するなどの工夫をし、無理なく固定化されないように行っています。	子どもの特性により個別対応が必要な場合もあるので足りないと感じる時があります。兼務職員と対応していきます。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6				
業務改善	④ PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6				
	⑤ 保護者向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6				保護者の方には、サービス評価やアンケートをお願いし、業務の改善につなげています。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6				
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか。	3	1	2		第三者委員会を毎年実施しておりますので、評価について職員で共有していきます。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			外部講師に依頼をして、職員の研修機会を確保しています。	
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			s-m社会生活能力検査と行動チェックシートを活用しています。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			現在の s-m社会適応能力検査を使用しながら、記録における分析を行っています。	その子の困り感には記録、行動の前後の様子、回数を分析するのが有効ととらえ、行っていきます。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6				
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6				
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6				
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放	6				子どもの状況をみながら、個別と集団活動を適宜組み合わせ放

	課後等デイサービス計画を作成しているか					計画していきます。	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1		メール等で、職員への周知を徹底します。	長期休みは打合せ時間を設けることが難しいこともあるので、個別に伝えるなどして情報共有しています。	
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	3		その日にいない職員にも確実に伝わる工夫として、別ノートに記入し共有しています。	次の日のミーティング等にて振り返りを行っています。	
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1			記録内容について、状況が伝わりづらいことがあるので、第三者がみてもわかりやすいように書式の検討をしています。	
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			変更点はその都度伝えていきます。また、回覧して見てもらいます。		
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	4	2		新人研修の中で、ガイドラインの研修も入れています。	ガイドラインの総則に沿って支援しているが、チームとして同じ方向性で進めているか確認していきます。	
関係機関や保護者	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6					
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1			地域小の児童については送迎時間など随時連絡を取っていきます。	
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	2	3			嘱託医はいるものの看護師が常駐して居ないことも受け入れは難しいと感じています。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6					
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6					依頼があった場合に情報提供していきます。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害	6				今年度も行っている	

との連携		者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか				が、今後も続けていき情報共有していきます。	
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6			市や学校で主催する行事には積極的に参加しています。	
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6			園長が参加し、情報を会議等にて共有しています。	園長、児発管が参加し、その状況を職員に伝達していきます。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	2		年に2回面談の機会を設け、デイサービスの様子や家、学校での様子に情報共有しながら、共通理解をしています。	
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	3	1	職員の研修としてペアトレに取り組んでいます。	
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			年1回説明会を実施しており、その時にお伝えしています。	説明会に参加できない保護者に対しては個別でお伝えしていきます。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1			年2回、個別面談を行っており、必要に応じて助言と支援を行っています。また、個別面談以外で保護者から要望があったら、随時面談を行い、助言、支援をしていきます。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6				父母会は組織されていないが、保護者参加型の研修やおおしみず祭りなど保護者が参加できる機会を設けていきます。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			苦情があった際は迅速に対応しています。	
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			隔月ですが、便りにて報告しています。	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	6				
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6				
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた施設運営を行	6				新型コロナウイルスが5類へ移行したので、感染予防対策をし

		っているか。					ながら、地域住民を招待する行事等を検討していきます。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			マニュアルを策定して、説明会で保護者に周知しています。	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			避難訓練の他に消防署見学で災害について学ぶ機会を設けています。	今年度も隔月で計画的におこないましたので、次年度も引き続き行っていきます。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			研修や未然防止のための虐待防止委員会や職員会議等で話し合っています。	虐待について職員によって認識が違う部分があるので、共有化を図るために検討していきます。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6				個別支援計画に記載されていますが、身体や心の変化に伴い、見直しが必要となっていくしますので確認をしながら進めていきます。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5		1		活動で調理体験をする場合は事前に確認していきます。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			事業所の会議等でヒヤリハットの事例を共有しています。	